

# 小型・軽量アナライザー

## 海外販売網を拡充

マイクロニクス

マイクロニクス（東京都八王子市、田仲克彰社長、0426・37・3667）は海外販売網を拡充した。インド、南アフリカ、ドイツの弊社3社と相次いで販売代理店

契約を結んだ。主力製品の小型・軽量スペクトラムアナライザーの海外での本格的な販売展開を目指す。これにより、海外売上高を現在の約1億5000万円から5年後に

は約15億円まで引き上げる。販売代理店契約を結んだのは、インドのサイエントテック社、南アフリカのチャネルズ社、ドイツのハーメグ社。これで

中国、韓国、米国など従来の拠点を含め、海外販売拠点は合計8カ所となった。

主力販売製品は「ハンディ型スペクトラムアナライザー」。また、各地域の需要に合わせて、マイクロ波帯電気信号の減衰量を高速で切り替えられる高速プログラマブルアッテネーターやシールドボックス（電波暗箱）も販売する。

販売先として見込むのは各国の通信事業者や通信工事業業者。携帯電話のインフラ整備が進む中で、高機能で機動性があるスペクトラムアナライザーへの需要が伸びると判断した。

同社は、02年に中小企業技術革新制度（SBI R制度）の承認を受けて「ハンディ型スペクトラムアナライザー」を開発。製品化後、海外販売網の拡大に着手している。